

令和 8 年度
(2026)

入 学 者 案 内

弘 前 大 学

【学生便覧】

令和8年度(2026)から学生便覧はホームページに掲載します。
4月以降閲覧可能です。

<https://gkm.hirosaki-u.ac.jp/kyoikuinfo/campus.html>



【生成AIチャットボット】

窓口時間外や休日の問い合わせに対応するため、生成AI技術(ChatGPT等)を活用して開発されたものです。

4月から正式稼働します。

それまでは試行期間のため、回答の精度が低い場合がありますので、原則として利用しないでください。

なお、正式稼働後も、正確性を完全に保証するものではありません。

【主な機能・特徴】

- **24時間即時対応**：深夜や早朝でも、質問に対してAIが即座に回答します。
- **LINEで完結**：使い慣れたLINEアプリから手軽に質問可能です。
- **対応内容**：履修登録、証明書発行、施設利用などの一般的な問い合わせに対応します。

【利用方法】以下のリンク(またはQRコード)からLINEの「友だち追加」を行ってください。

https://line.me/R/ti/p/@211hrykp?oat_content=url&ts=12051002



- **個人情報について**：チャット欄には、氏名・学籍番号などの個人情報は入力しないようにお願いします。

【弘前大学ホームページ】

弘前大学のホームページには、本学からの重要な連絡事項や最新情報等を掲載していますので、必ず確認してください。

○弘前大学ホームページアドレス

<https://www.hirosaki-u.ac.jp/>



弘前大学
ホームページ

新入生のみなさんへ

この「入学者案内」には、みなさんにとって重要な手続きや当面のスケジュール、これからの学生生活全般に関することが掲載されていますので、必ずよく読んで内容を理解・把握しておいてください。

なお、大学での授業の履修方法や条件等については、ガイダンスで説明します。

また、本誌に掲載してある内容は、諸事情で変更、中止となる場合がありますので、予めご承知おきください。詳細は本学ホームページ等で確認してください。

目 次

1. 入学時の提出書類について	2
2. 入学式について	2
3. ガイダンス等について	3
4. 授業開始までの日程表	4
5. 教養教育科目「英語」について	8
6. 副専攻プログラムについて	8
7. 「情報システム利用ガイダンス」について	9
8. 大学の授業について	9
9. 弘前大学におけるBYOD (Bring Your Own Device) について	10
10. 学務情報システムCAMPUS SQUARE	11
11. 学生担当窓口・証明書の発行	12
12. 大学からの連絡について	13
13. 大規模災害時等の学生の安否確認について	13
14. 入学前の既修得単位等の認定	14
15. 入学後の授業料納付方法	14
16. 奨学金 日本学生支援機構（給付型）及び授業料等減免	16
17. 奨学金 日本学生支援機構（貸与型）	18
18. 弘前大学独自の奨学金等	20
19. 大学生活で必要な保険（学研災・共済）等への加入について	21
20. 附属図書館	22
21. 国際連携本部／サポートオフィス	23
22. キャリアセンター	23
23. 保健管理センター	24
24. 学生生活に関する相談	25
25. English Lounge の利用	26
26. 学生による学修相談（ピアサポーター）	26
27. 課外活動	26
28. 大学会館	27
29. 学寮及びアパート・下宿の案内	27
30. その他学生生活に関する事項	28
31. 弘前大学における学生等に係る個人情報の取扱いについて	32
32. 総合教育棟の講義室等配置図	35

1 入学時の提出書類について

以下（次）の書類を、提出期限までに提出してください。

提出書類

①高等学校の卒業証明書

※高等学校卒業以外の入学資格を有する方は、当該入学資格を証明する修了証、証明書等

②弘前大学授業料預金口座振替依頼書

③弘前大学後援会申込書（入会する場合は提出してください）

記入事項等に不備がないかよく確認し、指定封筒（入学時提出書類に在中）に入れて提出してください。

提出期限

- ・前期日程（総合型選抜入試を含む）：令和 8 年 3 月 31 日（火）必着
- ・後期日程：令和 8 年 4 月 3 日（金）必着

提出先

入学する学部の教務・学務担当

2 入学式について

入学式は以下のとおり開催を予定しています。

最新の情報は本学ホームページ上でお知らせいたします。（URL：<https://www.hirosaki-u.ac.jp/>）

日 時

令和 8 年 4 月 3 日（金）

	人文社会科・教育・農学生命科学部	医・理工学部
入場開始	12：00	14：00
入学式	12：30～13：05	14：30～15：05

※混雑状況によっては、危険防止の観点から、入場時間を早める場合がありますので予めご了承ください。
※会場内では係員の誘導に従って、新入生の座席エリア（学部生は学部ごと）にご着席ください。

場 所

弘前市民会館大ホール（巻末の「弘前市内略図」参照）

交 通

路線バス：①弘前駅中央口 6 番乗り場から「藤代営業所行（駒越線）」に乗車，市役所前公園入口で下車（約11分），徒歩 5 分，230円（令和 7 年12月 1 日現在）

②弘前駅中央口 1 番乗り場から「土手町循環」に乗車，市役所前で下車（約16分），徒歩 7 分，150円（令和 7 年12月 1 日現在）

タクシー：弘前駅から約10分

注 意 事 項

- 入場の際、受付にて「**入学許可書**」を確認する場合がありますので当日持参してください。
- 弘前市民会館には駐車スペースがありませんので、公共交通機関をご利用ください。
- 入学者の保証人及び関係者の方の入学式会場への入場は可能ですが、座席数には限りがあるため、場合によっては入場できないことがありますので、予めご了承ください。（詳細については本学ホームページでお知らせいたします。）

3 ガイダンス等について

4月1日(水)から、授業関係資料等の配付やガイダンスを順次行いますので、指示された日時及び場所に集合してください。

【編入生のみなさんへ】

編入生に対しての資料配付、ガイダンスは新生とは別に行いますので、それぞれの学部からの指示に従ってください。

教養教育・専門教育ガイダンス

教養教育ガイダンス及び専門教育ガイダンスでは重要な説明を行いますので、必ず出席してください。その際必ず自身のパソコンを持参してください。

この他にも大切な各種ガイダンス、履修相談等があります。これらのガイダンス等の日時・場所などは、P4の**4**「授業開始までの日程表」で確認してください。

- 配付資料：授業関係資料

学生証・HiroinID通知カードの配付

4月3日(金)に学生証・HiroinID通知カードを配付します。

入学する学部毎に受け取る教室が決まっていますので、総合教育棟の講義室等配置図を確認し、必ず受け取ってください。

- 「学生証」は、在学中、常に携帯し、無くさないように十分注意してください。
- 「HiroinID通知カード」は、情報システム利用ガイダンスにおいて使用しますので必ず持参してください。(P9「情報システム利用ガイダンス」について)を参照)

配付場所・時間

学部	配付時間	配付場所	
人文社会科学部	10:00-12:00 14:00-18:00	総合教育棟 4階	406講義室
教育学部		総合教育棟 3階	310講義室
農学生命科学部		総合教育棟 3階	301講義室
医学部医学科	10:00-14:00 16:00-18:00	総合教育棟 2階	206講義室
医学部保健学科		総合教育棟 3階	306講義室
医学部心理支援科学科			
理工学部		総合教育棟 1階	101講義室

【総合型選抜 I による入学生のみなさんへ】

下記の書類を提出期限までに提出してください。

提出書類 大学入学共通テストの成績

提出期限 令和8年4月17日(金)

提出先 教務課教養教育担当
(総合教育棟 1階 教務課 2番窓口)

※事情により期限までに提出できない場合は、準備出来次第速やかに提出してください。

提出書類の余白(右上)に学籍番号と氏名を記載してください。

4 授業開始までの日程表

月日(曜日)	時 間	行 事	対象学部[学科(課程)]・場所
3月17日 (火) ～31日 (火)	随時	英語プレースメントテスト	英語科目の習熟度別クラス編成を行うため、オンラインによるプレースメントテストを自宅等で必ず受験してください。詳細は「入学者案内」の●●ページでご確認ください。
4月1日 (水)	9:00～10:00	日本学生支援機構 「(予約)給付型奨学金採用候補者」手続き説明会	○高校在学中に「給付奨学金のみ」もしくは「給付奨学金と貸与奨学金の両方」の採用候補者決定通知を受けた以下の学部学生 人文社会科学部, 医学部(保健学科・心理支援科学科), 農学生命科学部 → 総合教育棟 2階 201講義室
	13:00～17:00	日本学生支援機構 「(予約)貸与型奨学金採用候補者」手続き説明会	○高校在学中に「貸与奨学金のみ」の採用候補者決定通知を受けた以下の学部学生 人文社会科学部, 医学部(保健学科・心理支援科学科), 農学生命科学部 → 総合教育棟 4階 401講義室
4月2日 (木)	9:00～10:00	日本学生支援機構 「(予約)給付型奨学金採用候補者」手続き説明会	○高校在学中に「給付奨学金のみ」もしくは「給付奨学金と貸与奨学金の両方」の採用候補者決定通知を受けた以下の学部学生 教育学部, 医学部(医学科), 理工学部 → 総合教育棟 2階 201講義室
	13:00～17:00	日本学生支援機構 「(予約)貸与型奨学金採用候補者」手続き説明会	○高校在学中に「貸与奨学金のみ」の採用候補者決定通知を受けた以下の学部学生 教育学部, 医学部(医学科), 理工学部 → 総合教育棟 4階 401講義室
4月3日 (金)		入学式	弘前市民会館
	10:00～12:00 14:00～18:00	学生証・HiroinID通知カード 配付	人文社会科学部 教育学部 農学生命科学部 → 総合教育棟 4階 406講義室 → 総合教育棟 3階 310講義室 → 総合教育棟 3階 301講義室
	10:00～14:00 16:00～18:00	学生証・HiroinID通知カード 配付	医学部医学科 医学部保健学科, 医学部心理支援科学科 理工学部 → 総合教育棟 2階 206講義室 → 総合教育棟 3階 306講義室 → 総合教育棟 1階 101講義室
4月4日 (土)			
4月5日 (日)			
4月6日 (月)	9:00～10:30	情報システム利用ガイダンス 理工学部	理工学部 ●数物科学科 ●物質創成化学科 ●地球環境防災学科 → 情報基盤センター 2階 201実習室 → 情報基盤センター 1階 101実習室 → 情報基盤センター 3階 301実習室
	11:30～13:00	情報システム利用ガイダンス 理工学部	理工学部 ●電子情報工学科 ●機械科学科 ●自然エネルギー学科 → 情報基盤センター 1階 101実習室 → 情報基盤センター 2階 201実習室 → 情報基盤センター 3階 301実習室
	14:00～15:30	情報システム利用ガイダンス 人文社会科学部	人文社会科学部 ●文化創生課程(26H1001～1070) ●文化創生課程(26H1071～) ●社会経営課程(26H2001～2090) → 情報基盤センター 1階 101実習室 → 情報基盤センター 3階 301実習室 → 情報基盤センター 2階 201実習室
	16:30～18:00	情報システム利用ガイダンス 人文社会科学部 教育学部	人文社会科学部 ●社会経営課程(26H2091～) 教育学部 ●学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻小学校コース(26P1171～) ●学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻中学校コース ●養護教諭養成課程 ●学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻 ●学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻小学校コース(26P1101～1170) → 情報基盤センター 2階 201実習室 → 情報基盤センター 1階 101実習室 → 情報基盤センター 3階 302実習室 → 情報基盤センター 3階 301実習室
4月7日 (火)	9:00～10:30	情報システム利用ガイダンス 医学部保健学科 医学部心理支援科学科	医学部 ●保健学科 看護学専攻 ●保健学科 放射線技術科学専攻, 理学療法専攻 ●保健学科 検査技術科学専攻, 作業療法専攻 ●心理支援科学科 → 情報基盤センター 2階 201実習室 → 情報基盤センター 1階 101実習室 → 情報基盤センター 3階 301実習室 → 情報基盤センター 2階 202実習室

月日(曜日)	時 間	行 事	対象学部[学科(課程)]・場所
4月7日 (火)	9:00~10:10 10:20~11:30	教養教育ガイダンス 専門教育ガイダンス(全体) 教育学部	教育学部 <ul style="list-style-type: none"> 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻小学校コース 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻中学校コース 学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻 養護教諭養成課程
	※ 9:00~10:10 10:20~12:15	教養教育ガイダンス 専門教育ガイダンス 人文社会科学部 医学部医学科 理工学部 ※時間配分や休憩時間は適宜 変更となることがあります。	人文社会科学部 <ul style="list-style-type: none"> 文化創生課程 社会経営課程(26H2001~2130) 社会経営課程(26H2131~) 医学部 医学科 理工学部 <ul style="list-style-type: none"> 数物科学科 物質創成化学科 地球環境防災学科 電子情報工学科 機械科学科 自然エネルギー学科
	11:30~13:00	情報システム利用ガイダンス 農学生命科学部	農学生命科学部 <ul style="list-style-type: none"> 生物学科 地域環境工学科 分子生命科学科 国際園芸農学科(26A4001~4040) 食料資源学科 国際園芸農学科(26A4041~)
	11:40~12:15	専門教育ガイダンス(課程別) 教育学部	教育学部 <ul style="list-style-type: none"> 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻小学校コース 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻中学校コース 学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻 養護教諭養成課程
	13:00~14:30	情報システム利用ガイダンス 医学部医学科	医学部 医学科(26M1001~1060)
	13:00~14:10 14:20~16:15	教養教育ガイダンス 専門教育ガイダンス 医学部保健学科 医学部心理支援科学科 履修相談(※一部専攻)	医学部 <ul style="list-style-type: none"> 保健学科 看護学専攻 保健学科 放射線技術科学専攻 保健学科 検査技術科学専攻 保健学科 理学療法学専攻 保健学科 作業療法学専攻※ 心理支援科学科
	13:30~15:00	専門教育ガイダンス 1年次クラスアワー (課程・専攻・コース・専修別) 教育学部	教育学部 <ul style="list-style-type: none"> 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻小学校コース 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻中学校コース 国語専修 社会専修 数学専修 理科専修 音楽専修 美術専修 保健体育専修 技術専修 家庭科専修 英語専修 学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻 養護教諭養成課程
	14:00~15:10 15:20~17:15	教養教育ガイダンス 専門教育ガイダンス 農学生命科学部	農学生命科学部 <ul style="list-style-type: none"> 生物学科 分子生命科学科 食料資源学科 国際園芸農学科 地域環境工学科
	15:10~15:40	専門教育ガイダンス (小学校・幼稚園・特別支援学 校教員免許取得希望者) 教育学部	教育学部 <ul style="list-style-type: none"> 学校教育教員養成課程 養護教諭養成課程
	15:30~17:00	情報システム利用ガイダンス 医学部医学科	医学部 医学科(26M1061~)
	15:50~16:20	専門教育ガイダンス (中学校・高等学校・養護教諭 教員免許取得希望者) 教育学部	教育学部 <ul style="list-style-type: none"> 中高(国語) 中(社会),高(地歴,公民) 中高(数学) 中高(理科) 中高(音楽) 中高(美術) 中高(保健体育) 中(技術),高(工業) 中高(家庭) 中高(英語) 中高(保健),養護教諭

月日(曜日)	時 間	行 事	対象学部[学科(課程)]・場所
4月8日 (水)	9:00~11:00	履修相談(教養教育・専門教育) 理工学部 農学生命科学部	理工学部 ●数物科学科 → 総合教育棟 3階 305講義室 ●物質創成化学科 → 総合教育棟 3階 318講義室 ●地球環境防災学科 → 総合教育棟 3階 309講義室 ●電子情報工学科 → 総合教育棟 3階 310講義室 ●機械科学科 → 総合教育棟 3階 306講義室 ●自然エネルギー学科 → 総合教育棟 3階 319講義室 農学生命科学部 ●生物学科 → 総合教育棟 4階 410講義室 ●分子生命科学科 → 総合教育棟 4階 418講義室 ●食料資源学科 → 総合教育棟 4階 419講義室 ●国際園芸農学科 → 総合教育棟 4階 420講義室 ●地域環境工学科 → 総合教育棟 4階 413講義室
	9:00~11:30	教育学部教育実習等ガイダンス 教育学部	教育学部 ●学校教育教員養成課程 } → 教育学部校舎 2階 大教室 ●養護教諭養成課程
	9:00~17:00	日本学生支援機構 「(予約)貸与型奨学金採用候補者」 「進学届」手続き受付	○高校在学中に「貸与奨学金のみ」の採用候補者決定通知を受けた学部学生 ※所属学部により受付日及び受付時間が異なります。日程等の詳細は4月1日(水)及び4月2日(木)開催の「(予約)貸与奨学金採用候補者」手続き説明会でお知らせしますので、貸与奨学金の(予約)採用候補者決定通知を受けた方は、必ず4月1日(水)もしくは4月2日(木)の手続き説明会に出席してください。
	13:00~15:00	履修相談(教養教育・専門教育) 医学部保健学科 医学部心理支援科学科	医学部 ●保健学科 看護学専攻 → 保健学研究科校舎B棟 3階 第33講義室 ●心理支援科学科 → 保健学研究科校舎E棟 2階 第22講義室
	13:00~15:00	履修相談(教養教育・専門教育) 教育学部	教育学部 ●学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻小学校コース → 教育学部校舎 1階 大教室 ●学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻中学校コース 国語専修 → 教育学部校舎 2階 202教室 社会専修 → 教育学部校舎 2階 203教室 数学専修 → 教育学部校舎 3階 301教室 理科専修 → 教育学部校舎 3階 302教室 音楽専修 → 教育学部校舎 1階 音楽科教育演習室 美術専修 → 教育学部校舎 2階 201教室 保健体育専修 → 教育学部校舎 2階 204教室 技術専修 → 教育学部校舎 2階 CAD演習室 家庭科専修 → 教育学部校舎 3階 304教室 英語専修 → 教育学部校舎 2階 205教室 ●学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻 → 教育学部校舎 3階 303教室 ●養護教諭養成課程 → 教育学部校舎 1階 中教室 ●教育科学サブコース } → 教育学部校舎 1階 大教室 ●発達心理サブコース ●幼児教育サブコース
	13:30~15:30	履修相談(教養教育・専門教育) 人文社会科学部	人文社会科学部 ●文化創生課程 → 総合教育棟 3階 309講義室 ●社会経営課程 → 総合教育棟 3階 310講義室
	15:00~17:00	履修相談(教養教育・専門教育) 医学部保健学科	医学部 ●保健学科 放射線技術科学専攻 → 保健学研究科校舎E棟 5階 第51講義室 ●保健学科 検査技術科学専攻 → 総合教育棟 4階 406講義室 ●保健学科 理学療法科学専攻 → 保健学研究科校舎E棟 3階 第31講義室
4月9日 (木)	9:00~ 9:45	日本学生支援機構 「給付型奨学金(在学採用)」 募集説明会	全学部の希望者 ※高校在学中に「給付奨学金のみ」もしくは、「給付奨学金と貸与奨学金の両方」の予約採用に申し込まなかった学部学生で、「給付奨学金のみ」もしくは、「給付奨学金と貸与奨学金の両方」に新規申請する方を対象とした説明会です。 ※入学手続き時のWEB出願で「入学料・授業料の減免(高等教育の修学支援新制度による支援(多子世帯支援を含む)、被災学生支援)を申請する」を選択した方で入学料・授業料の減免を申請した方は、必ず本説明会に参加して、給付奨学金(在学採用)の申し込み手続きを進めてください。 → 総合教育棟 1階 101講義室
	9:00~11:00	教科書購入等説明会 医学部医学科 理工学部	医学部 医学科 → 総合教育棟 2階 201講義室 理工学部 ●数物科学科, 物質創成化学科 → 総合教育棟 4階 401講義室 ●地球環境防災学科, 自然エネルギー学科 → 総合教育棟 3階 301講義室 ●電子情報工学科 → 総合教育棟 3階 304講義室 ●機械科学科 → 総合教育棟 3階 306講義室
	9:00~17:00	日本学生支援機構 「(予約)貸与型奨学金採用候補者」 「進学届」手続き受付	○高校在学中に「貸与奨学金のみ」の採用候補者決定通知を受けた学部学生 ※所属学部により受付日及び受付時間が異なります。日程等の詳細は4月1日(水)及び4月2日(木)開催の「(予約)貸与奨学金採用候補者」手続き説明会でお知らせしますので、貸与奨学金の(予約)採用候補者決定通知を受けた方は、必ず4月1日(水)もしくは4月2日(木)の手続き説明会に出席してください。
	11:15~12:00	日本学生支援機構 「貸与型奨学金(在学採用)」 募集説明会	全学部の希望者 ※高校在学中に「貸与奨学金のみ」の予約採用に申し込まなかった学部学生で、「貸与奨学金のみ」に新規申請する方を対象とした説明会です。 → 総合教育棟 1階 101講義室

月日(曜日)	時 間	行 事	対象学部[学科(課程)]・場所
4月9日 (木)	12:30~14:30	教科書購入等説明会 教育学部 医学部保健学科 医学部心理支援科学科	教育学部 <ul style="list-style-type: none"> •学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻小学校コース → 総合教育棟 2階 201講義室 •学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻中学校コース → 総合教育棟 3階 301講義室 •学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻 •養護教諭養成課程 医学部 <ul style="list-style-type: none"> •保健学科 看護学専攻, 理学療法専攻, 作業療法専攻 → 総合教育棟 4階 401講義室 •保健学科 放射線技術科学専攻, 検査技術科学専攻 → 総合教育棟 3階 306講義室 •心理支援科学科 → 総合教育棟 4階 401講義室
	13:30~15:30	日本学生支援機構(在学採用)募集説明会	全学部の希望者 ※9:00~9:45, 11:15~12:00に実施する募集説明会と同じ内容で開催します。申請する奨学金の種別に応じて、いずれか都合の良い回に参加してください。 → 総合教育棟 1階 101講義室
	14:30~15:30	履修相談【教養教育(英語のみ)】	全学部(希望者のみ) 総合教育棟 2階 206講義室
4月9日 (木)	15:30~17:30	教科書購入等説明会 人文社会科学部 農学生命科学部	人文社会科学部 <ul style="list-style-type: none"> •文化創生課程 → 総合教育棟 3階 301講義室 •社会経営課程(26H2001~2130) → 総合教育棟 4階 401講義室 •社会経営課程(26H2131~) → 総合教育棟 4階 404講義室 農学生命科学部 <ul style="list-style-type: none"> •生物学科, 分子生命科学科 → 総合教育棟 3階 306講義室 •食料資源学科, 国際園芸農学科 → 総合教育棟 2階 201講義室 •地域環境工学科 → 総合教育棟 3階 304講義室
	9:00~ 9:45	学芸員資格取得ガイダンス	学芸員資格取得希望者対象(医学部除く) → 総合教育棟 2階 201講義室
4月10日 (金)	9:00~17:00	日本学生支援機構「(予約)貸与型奨学金採用候補者」「進学届」手続き受付	○高校在学中に「貸与奨学金のみ」の採用候補者決定通知を受けた学部学生 ※所属学部により受付日及び受付時間が異なります。日程等の詳細は4月1日(水)及び4月2日(木)開催の「(予約)貸与奨学金採用候補者」手続き説明会でお知らせしますので、貸与奨学金の(予約)採用候補者決定通知を受けた方は、必ず4月1日(水)もしくは4月2日(木)の手続き説明会に出席してください。
	10:30~11:30	教職ガイダンス	教育学部以外の教員免許状取得希望者対象 (医学部保健学科, 理工学部, 農学生命科学部の学生は専門教育ガイダンス時に配付された教員免許取得の資料を持参すること) 人文社会科学部 → 総合教育棟 2階 201講義室 医学部保健学科 } → 総合教育棟 3階 301講義室 農学生命科学部 } → 総合教育棟 4階 401講義室 理工学部
	13:00~14:00	履修相談【教養教育(英語のみ)】	全学部(希望者のみ) → 総合教育棟 2階 206講義室
4月11日 (土)			
4月12日 (日)			
4月13日 (月)		授業開始	

・情報システム利用ガイダンスの場所については一部変更となる可能性があります。

5 教養教育科目「英語」について

【英語科目について】

本学では、全ての学生に英語科目の修得が義務付けられており、1年次に、English Communication A/B/C/Dの4科目を各2単位、計8単位修得する必要があります。

【クラス分けについて】

前期はEnglish Communication A/C、後期はB/Dを開講します。

クラス分けは英語プレースメントテスト（TOEIC Listening & Reading IP オンラインテスト）の成績に基づいて行います。

クラス分けの結果は 4月8日（水）10:00（予定） にWeb 掲示板（CAMPUS SQUARE）で発表します。

【英語プレースメントテストについて】

習熟度別のクラス編成を行うため、TOEIC Listening & Reading IP オンラインテストを**必ず受験**してください。既にTOEICのスコアを持っている方でもプレースメントテストとして受験する必要があります。

パソコンまたはiPadが必要です（スマートフォンやiPad以外のタブレットでは受験できません）。

原則として、自宅等での受験とします。

総合型選抜入学手続き完了者・前期入学手続き完了者の場合：

3月17日（火）～3月31日（火）の期間に受験可能です。

後期入学手続き完了者の場合：

3月29日（日）～3月31日（火）の期間に受験可能です。

受験の方法、受験料等の詳細については、3月17日（火）までに「弘前大学教育推進機構教養教育開発実践センターHP」に掲載しますので必ずご確認ください。

○弘前大学教育推進機構教養教育開発実践センター ホームページ

<https://liberal-arts.hirosaki-u.ac.jp/>



6 副専攻プログラムについて

本学では、特定の課題を体系的に学ぶことができる「学部横断型副専攻プログラム」を開講し、プログラム修了者には、「弘前大学副専攻プログラム修了証書」を発行しています。

「学位記」（いわゆる卒業証書）と合わせて、「修了証書」はもうひとつの学びの証明となります。

○ホームページ <https://gkm.hirosaki-u.ac.jp/kyoikuinfo/syllabus/program.html>



7 「情報システム利用ガイダンス」について

情報基盤センターでは、講義を受講するために利用する教育用パソコンや、学生生活の様々な場面で利活用する各種情報システムを提供しています。各システムを利用する前に、その使い方や情報リテラシーを学び、情報を便利で安全に活用できるように「情報システム利用ガイダンスを実施します」。P4の**4**「授業開始までの日程表」を参照の上、指示された日時及び場所に集合してください。

ガイダンスでは、各種システムの利用に必要な弘前大学のアカウント「Hiroin ID」について、多要素認証の設定方法、オンラインでの講義に使用するMicrosoft Teams、弘大Moodleの利用方法、弘大生が利用できるMicrosoft Office、ウイルス対策ソフトのダウンロードの方法、その他の説明を行います。ガイダンスには必ず出席してください。

特に、情報リテラシー教育のためのe-ラーニング教材「倫倫姫」は、新入生全員の受講が義務づけられています。e-ラーニング教材を受講しなかった場合は、学内のWi-Fiが利用できなくなりますので注意してください。

なお、ガイダンスでは、4月3日(金)に配付される「Hiroin ID通知カード」、並びに多要素認証の設定に使用するスマートフォンまたは携帯電話を、必ず持参してください。

情報システムガイダンスでは自身のパソコンは使用しません。

問い合わせ先

情報基盤センター

電話 0172-39-3721 / 0172-39-3726

E-mail cc-staff@ml.hirosaki-u.ac.jp

電話受付時間 8:30~12:00, 13:00~17:00

8 大学の授業について

本学は1年を2つに分ける2学期制をとっています。

前期は4月~9月、後期は10月~3月です。

令和7年度の授業開始日は前期4月11日(金)、後期は10月1日(水)からとなります。詳しい授業日程については、掲示や本学ホームページ等で確認してください。

1日の授業の時間は以下のようになっています。

時限	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10
時間	8:40~10:10	10:20~11:50	12:40~14:10	14:20~15:50	16:00~17:30

授業の形態は、講義、演習、実験、実習、実技があります。また特定の時期に集中して行われる集中講義もあります。

大学の授業は、「教養教育科目」、「専門教育科目」に区分されています。「ガイダンス」を設けていますので、必ず出席してください。(P4「**4** 授業開始までの日程表」参照)

9 弘前大学におけるBYOD (Bring Your Own Device) について

弘前大学では入学後、履修する授業科目の登録手続きや成績の確認、休講等の各種掲示物等の確認、授業における講義資料の閲覧及び課題レポートの作成と提出、卒業研究、就職活動等、様々な場面でパソコンを使用することになります。

このため、本学では、学部新生に対して、ノートパソコン等を持参して学修するBYOD (Bring Your Own Device) を必須としています。

1. 必携とするノートパソコンの基本仕様 (令和7年10月現在)

項目	性能等
形状	Webカメラ・マイク・スピーカーを備えた、ノート型PCまたはタブレット型PCなど、持ち運びが可能であること (外付け可)。
OS	Windows11 (バージョン24H2) 以降 macOS 15 Sequoia 以降 ※在学中のサポート終了対策のため可能な限り最新OSを用意すること。 ※どちらを選んだらいいか迷う場合は、サポート体制が充実しているWindowsを推奨。 ※理工学部電子情報工学科の大学生は、上記のWindowsを搭載したPCを準備すること (macOS 不可)。
CPU	Windows: Intel Core i5 (第13世代) またはCore Ultra 5, AMD Ryzen5 7000番台以上の性能を有するCPU Mac: Apple M2 チップ以上の性能を有するCPU
メモリ	16GB以上
ストレージ (SSD)	500GB以上
ディスプレイ解像度	フルHD (1920 × 1080) 以上
画面サイズ	13インチ以上
バッテリー駆動時間	10時間以上
その他	①Web会議のハウリング防止のため、ヘッドセットまたはイヤホンを別途用意すること。 ②キーボード入力が可能であること。(タブレット型用外付けキーボードを含む) ③無線LAN (Wi-Fi) 機能が搭載されていること。

※ノートパソコンのメーカーについて、特に指定はありません。

※購入の際、より高性能の機種や別途タブレットの購入を勧められる場合がありますが、弘前大学が必携とする基本仕様は上記のノートパソコンです。タブレット等は必携としていません。

※弘前大学生協でも上記の仕様を満たす各種パソコンを用意しています。

URL <https://newlife.u-coop.or.jp/hirosaki/standby/material/>



2. 大学からの必須ソフトウェアの提供

本学ではマイクロソフト社等の包括ライセンス契約に基づき、学生は以下のソフトウェアを無料でインストールすることができますので、購入する必要がありません。

なお、本学で提供するソフトウェアを変更することがあります。詳細は情報基盤センターHPをご覧ください。

<ul style="list-style-type: none"> アプリケーションソフト Microsoft Office (Windows / Mac) Word, Excel, PowerPoint, Outlook 等 	<ul style="list-style-type: none"> ウイルス対策ソフト WithSecure
Microsoft Office のダウンロードとインストール https://itc.hirosaki-u.ac.jp/guide/guide-08	ウイルス対策ソフトの利用 https://itc.hirosaki-u.ac.jp/guide/guide-09

これらのダウンロード／インストール方法の詳細については、新入生ガイダンスの際に説明します。

3. Wi-Fi (無線LAN) 環境の準備について

大学構内(学生寮含む)は、学生の皆さんが自由にWi-Fi(無線LAN)に接続できる環境を整えています。状況によっては構内のWi-Fiを使用できず、自宅等で授業を受ける場合もあります。また、休講等の大学からの各種掲示・連絡については、インターネットを利用して行うものがありますので、自宅等にインターネット環境の準備をお願いします。

4. 入学時にすぐパソコンを用意できない方へ

4月の新入生ガイダンスで、パソコン等の利用説明をした後に、パソコンを利用した手続きを行うことになるため、早めの準備をお願いします。

パソコンの準備が間に合わない場合は、パソコン貸出(台数制限あり)や学内の実習室を利用することができますので、以下問い合わせ先まで連絡してください。

問い合わせ先

学務部教務課教務企画担当

TEL: 0172-39-3108

E-mail: jm3108@hirosaki-u.ac.jp

10 学務情報システム CAMPUS SQUARE

本学では、学務情報システム「CAMPUS SQUARE」を導入しており、履修登録、シラバスの閲覧、掲示板(休講・補講、各種お知らせ)閲覧、出席確認、成績確認、アンケート回答などの機能を備えています。

学外からもアクセス可能で、Hiroin IDでログインし、使用できます。

これからの学生生活を通して使用しますので、各機能の使用方法を確認してください。

履修登録時に、自身の連絡先情報の入力画面が表示されます。連絡先・保証人連絡先を必ず入力し、学期の途中で変更が生じた場合は、所属する教務・学務担当へ届け出てください。

URL: <https://gakujoweb.hirosaki-u.ac.jp/campusweb/>



CAMPUS SQUARE

【CAMPUS SQUARE マニュアルの確認方法】

CAMPUS SQUAREの操作方法や各種申請書類は、以下の手順で確認できます。

1. CAMPUS SQUAREにログイン
2. メニューから「掲示板」を選択「ジャンル一覧」を開く
3. 「キャンパスマニュアル類・各種申請書類等」をクリック
4. 「キャンパススクエア学生向けマニュアル」から必要なマニュアルや申請書類を確認してください

11 学生担当窓口・証明書の発行

本学では、担当の窓口が内容によって分かれています。主な担当窓口を掲載しますので、確認・把握してください。

担当窓口の詳しい業務内容や場所については、学生便覧にも記載されています。

担当窓口		担当内容	備 考	関連頁
各学部	教務(学務)担当	専門教育科目に関すること		
		退学願(大学を辞める場合) 休学願(3か月以上欠席する場合) 復学願(休学していて大学に復学する場合) 長期欠席願*(1か月以上欠席する場合) 公欠届*(忌引き、感染症等で授業に出席できなかった場合) 氏名変更届、旧姓使用届、通称名使用届	必要ときに提出 ただし、退学・休学・ 復学願は、各学部教務 (学務)担当が指定する 日まで	
		各学部校舎内の落とし物・忘れ物に関すること		
		住所届(現住所・帰省先)	指定期日まで	
		海外渡航届*	渡航5日前まで	P29
教務課	教養教育担当	教養教育科目に関すること 入学前の既修得単位の認定及び大学以外の教育施設等における学修の認定申請		P14
	修学・実習担当	教職に関すること(教育学部を除く)	教職ガイダンスで説明	
		学芸員資格取得に関すること		
教務企画担当	BYOD, パソコン貸出, ピアサポーターに関すること		P10, 26	
学生課	学生・企画担当	各学部校舎, 附属図書館以外の落とし物・忘れ物		P29
	経済支援担当	授業料の減免や徴収猶予に関すること	詳細は掲示で連絡	P16
		奨学金関係	詳細は掲示で連絡	P18
		学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険関係		P21
	学生相談担当	なんでも相談		P25
	学生特別支援室	障害等による修学上の困難に関する相談		P25
課外教育担当 学生・企画担当	大学会館			P27
	学寮関係			P27
	課外(サークル)活動に関すること			P26
保健管理センター	健康・心の悩みに関する相談等		P24	
国際連携本部 サポートオフィス	留学・海外研修に関すること			P23
	国際交流会館			P27
キャリアセンター	就職に関すること・キャリア支援に関すること		P23	
財務管理課	収入担当	授業料納付に関すること		P14
情報連携 統括本部	情報基盤センター	PC等の操作・設定, Hiroin ID, Microsoft 365等に関する こと		P9

※令和8年4月1日から電子申請可能(詳細はCAMPUS SQUARE参照)

証明書は、以下のとおり自動発行機で発行されるものと、担当窓口で発行されるものがあります。自動発行機を利用する際には、学生証とHiroin IDが必要です。学生証はガイダンス時に配付(予定)しますので、それ以前の発行はできません。

また、自動発行機は「土日祝日・大学閉庁日の利用はできません。(附属図書館本館内自動発行機は開館時間内の8:30～20:00は利用できます。)」

	証明書名	備考	関連頁
証明書自動発行機	学校学生生徒旅客運賃割引証(学割証)	原則年間20枚(追加可)	P13
	在学証明書 通学証明書 (JR, 弘南鉄道, 弘南バス等の通学定期券購入者) 卒業見込証明書(最終学年のみ) 修了見込証明書(") 健康診断証明書		
各学部教務(学務)担当	成績証明書 卒業証明書(在学中は発行できません。) 修了証明書(在学中は発行できません。)	おおよそ申込み3日後	

学校学生生徒旅客運賃割引証(学割証)

○使用目的の範囲

学割証とは、学生個人の自由な権利として使用することを前提としたものではなく、修学上の経済的負担を軽減し、学校教育の振興に寄与することを目的として実施されている制度です。

学割証の利用枚数は原則として1人年間(4月～翌3月)20枚までです。また学割証の有効期間は発行から3か月ですので、計画的に使用してください。

※追加発行の必要がある場合は、学務部教務課学務情報担当に申し出てください。

○使用上の注意

学割証は、本人に限り使用できます。本人以外の者が使用した場合は、使用した学割証が無効になるばかりでなく、使用者が追徴金(普通運賃の3倍額)を納入することになります。

12 大学からの連絡について

学生への連絡事項は、原則として掲示板(Web掲示板を含む)に掲示します。掲示には、修学上・学生生活上重要なものが含まれますので、1日に一度は必ず確認してください。掲示を見なかったという理由で、事後に異議申し立てをすることはできません。

その他、重要な情報は本学ホームページや弘大メールアドレスに周知する場合があります。

また、急を要する場合、携帯電話や自宅等に連絡することがあります。その際は、CAMPUS SQUAREの連絡先情報を元に連絡しますので、必ず入力してください。

(大学から連絡する際、表示される電話番号は、「0172-39-〇〇〇〇」です。)

13 大規模災害時等の学生の安否確認について

本学では、大規模災害等(地震、台風など)の緊急時に、安否確認システム「ANPIC」(アンピック)により、学生の安否確認を行います。

入学後、本学から連絡がありますので、必ずANPICの登録を行ってください。

14 入学前の既修得単位等の認定

本学に入学する前の大学・短期大学などで修得した単位〈既修得単位〉や特定の検定試験（英語等の指定する資格）〈大学以外の教育施設等における学修〉合格者に、本学における履修により修得したものとみなし、単位を認定する制度があります。

認定を希望する場合は、申請手続きを以下の日程までに行ってください。

なお、制度の詳細、申請手続き方法等については、入学時に配付する「教養教育科目履修マニュアル」や掲示等で確認してください。

【申請に必要な提出書類について】 ※申請手続きに間に合うよう、事前に用意してください。

提出先：総合教育棟1階 教養教育担当窓口 ※土・日・祝日は不在となります。

〈既修得単位〉

提出期間：令和8年4月1日(水)～4月13日(月) 17:00

- ① 認定願（教養教育担当窓口で配付します）
- ② 入学前在学校の「学業成績証明書」（要厳封）
- ③ 入学前在学校の授業計画（シラバス）
- ④ 入学前在学校の1単位あたりの授業時間が記載された資料

※「既修得単位」の認定の受け付けは、入学時のみとなりますので、注意してください。

〈大学以外の教育施設等における学修〉

提出期間：令和8年4月1日(水)～4月10日(金) 12:00

- ① 認定願（教養教育担当窓口で配付します）
- ② 検定試験の合格証明書の原本など

※対象となる資格試験については、別紙『「大学以外の教育施設等における学修」の単位認定について』を確認してください。

15 入学後の授業料納付方法

本学の授業料の納付方法は、学生本人名義の預金口座からの口座振替となっています。

自動的に授業料が引き落としされますので、一度の手続き（預金口座開設及び口座振替依頼手続き）により、卒業（修了）するまでの間、現金紛失事故等の危険性が無く授業料を納めることができます。引き落としにかかる手数料は本学が負担します。

1. 手続き等

(1) 提出書類について

同封の「弘前大学授業料預金口座振替依頼書」用紙に必要事項を記入し、4枚複写のうち上3枚（金融機関用、青森みちのく銀行ワイドネット担当行、弘前大学用）を他の入学時提出書類と併せて指定封筒（入学時提出書類在中）に入れて郵送、又は入学する学部の教務・学務担当に提出してください。

4枚複写の残りの1枚（預金者用）は本人控となりますので大切に保管してください。

(2) 口座振替対象口座について

学生本人名義の預金口座からの引き落としとなりますので、口座がない場合は開設をお願いします。全国の金融機関の口座が利用できますが、以下の農協、漁協の預金口座については本学の授業料の口座振替ができませんのでご注意ください。

3. 入学手続き時以降の手続き及び変更

- (1) 入学手続き時以降でも口座振替手続きを行うことができますので、「弘前大学授業料預金口座振替依頼書」を提出してください。
- (2) 在籍途中に届出口座、預金者の氏名等を変更する場合は、手続きが必要ですので速やかに「6. その他不明な点の問い合わせ先」まで申し出てください。

4. 休学・退学等

授業料の引き落とし処理に関係しますので、休学・退学等を願い出ようとする場合は、早めに所属する学部の教務・学務担当に相談してください。

5. その他不明な点の問い合わせ先

財務部財務管理課収入担当

電 話 0172-39-3885

受付時間 8:30~17:00

16 奨学金 日本学生支援機構（給付型）及び授業料等減免

日本学生支援機構の給付奨学生に採用となった方（多子世帯区分授業料等減免支援対象者を含む）は、本人の申請に基づき、学長が許可をすることで授業料が減免されます。

なお、奨学生採用期間中は毎年、日本学生支援機構が給付型奨学金の家計基準に該当するか確認します。

また、毎年、学業成績などの基準に関する確認を本学において行い、その確認結果を日本学生支援機構に報告します。

以上による確認の結果、奨学金の支給が止まったり、支給額が増減することがあります。

この場合、授業料の減免についても、減免がなくなったり、減免額が増減することがあります。（多子世帯区分授業料等減免支援対象者を含む）

弘前大学は、令和元年9月20日に「高等教育の修学支援新制度の支援対象機関」として文部科学大臣より認定されました。「高等教育の修学支援新制度」とは、令和2年度以降、大学等における修学の支援に関する法律に基づき、学部学生を対象とした「入学金・授業料の減免及び日本学生支援機構（JASSO）による給付型奨学金の支給」による支援です。

この「高等教育修学支援新制度」による支援を受けるためには、日本学生支援機構の給付奨学金に申請し、採用されることが必要です。支援区分に応じて、給付奨学金の支給額と授業料等の減免額が決定します。また、令和7年度よりこの支援区分に「多子世帯区分」が追加され、多子世帯であれば入学金・授業料の減免が受けられるようになりました。

つまり、「多子世帯区分」による入学金・授業料の減免を受けるためにも、日本学生支援機構の給付奨学金に申請し、採用されることが必要です。「多子世帯区分」による入学金・授業料の減免の要件や選考基準、学業要件、採用決定後の支援継続にかかる要件は、高等教育修学支援新制度と同様です。詳しくは、「給付奨学金案内」で確認してください。

「高等教育修学支援新制度」による支援については、高等学校等在籍時に日本学生支援機構の給付奨学金に採用されている方（日本学生支援機構 給付奨学金採用候補者）と、これから日本学生支援機構の給付奨学金に申請する方とで、手続きが異なります。

(1) 授業料の減免額について

減免の額は以下のとおりです。

ただし、授業料減免（多子世帯区分授業料等減免支援対象者を含む）は学長が許可することで正式に決定しますので、授業料減免の申請者は弘前大学長名の授業料減免審査結果通知を受け取る前に授業料を納付しないように注意してください。授業料減免審査結果通知前に授業料の引き落としは行われません。

給付奨学生の支援区分	授業料の減免割合	授業料の減免額（半期分）	授業料の支払額（半期分）
第Ⅰ区分	全額免除	267,900円	0円
第Ⅰ区分（多子世帯区分）	全額免除	267,900円	0円
第Ⅱ区分	全額の3分の2を免除	178,600円	89,300円
第Ⅱ区分（多子世帯区分）	全額免除	267,900円	0円
第Ⅲ区分	全額の3分の1を免除	89,300円	178,600円
第Ⅲ区分（多子世帯区分）	全額免除	267,900円	0円
第Ⅳ区分（多子世帯区分）	全額免除	267,900円	0円
多子世帯区分	全額免除	267,900円	0円

(2) 説明会について

① 出身高校等を通じて給付奨学金採用候補者（多子世帯区分授業料等減免支援対象者を含む）となっている方

高校等在学中に、日本学生支援機構の「給付奨学生」の採用候補者となっている方（多子世帯区分授業料等減免支援対象者を含む）を対象に、説明会を行いますので必ず出席してください。

説明会の日程についてはP4の4「授業開始までの日程表」を参照してください。

説明会には、下記の必要書類を持参の上、必ず出席してください。

- 2026年度入学者用進学届入力下書き用紙※必要事項記入済みであること。
- レターパックライト2通※必要事項記入済みであること。
- 令和8年度大学等奨学生採用候補者決定通知（提出用）※提出用裏面記入済みであること。
- 通学形態変更届※学生寮、アパート、下宿等の自宅外通学者のみ。自宅通学者は不要。記入済みであること。
- アパートや下宿等の賃貸借契約書のコピー※弘前大学学生寮生と自宅通学者は不要。
- 採用候補者名義の通帳※口座番号が分かればコピーや画像でも可。
- 筆記用具※黒のボールペン必須。

※①、④は入学手続き時に「経済支援のためのインターネット手続き」を行うことによって連絡したメールアドレス宛に必要なファイルを送信します。「経済支援のためのインターネット手続き」については、合格者への送付物「経済支援の手引き」をご確認ください。

※給付・貸与両方の手続きをする方は、「給付」の説明会に参加してください。

4月1日と4月2日の両日9:00～10:00に説明会を実施しますが、それぞれ説明会の対象となる学部が異なります。自分が入学する学部が対象となっている説明会に参加してください。

また、説明会当日の13:00～17:00に個別の書類確認を行います。説明会にて配付する書類の案内に従ってお越しください。

※④と⑤については、早期支給希望の3月15日締め切りまでに提出した方は不要です。

※令和8年度大学等奨学生採用候補者決定通知の給付奨学金の選考結果に、「候補者決定」と記載のある方は給付奨学金採用候補者の手続説明会に参加してください。

この通知は、進学後の手続きに必要な重要なものです。紛失しないよう大切に保管してください。

令和8年度大学等奨学生採用候補者決定通知【提出用】

登録番号	99999901-100-00999		
学年等	3年	10組	
出席番号	A000001		
氏名	学校用 見本 (カワカミ ミホ)	様	
	* 99999901	# 7999999	

交付書類コード = G

※ コードにより交付される書類が異なります。封筒の裏面にてご確認ください。

独立行政法人日本学生支援機構

1. 申込内容及び選考結果

申込内容	給付奨学金		貸与奨学金	
	希望する	希望しない	希望する	希望しない
給付奨学金(※4)				
貸与奨学金				
選考結果	候補者決定			
支援区分: 第Ⅲ区分 【多子世帯〇】	ア: 併用貸与(※1)	イ: 第一種奨学金	ウ: 第二種奨学金	

アークのうち、「候補者決定」と記載のものを1つだけ選択できます

「給付奨学金」欄に「候補者決定」と記載のある方ただし、「支援区分：第Ⅳ区分（私立理工農）」と記載のある方は申請できません。

② 入学後に給付型奨学金（多子世帯区分授業料等減免支援を含む）を希望する者（学士編入学者及び社会人入学者を除く）

本学入学後、新規に給付型奨学金（多子世帯区分授業料等減免支援を含む）の申請希望する学生を対象に、説明会を行いますので必ず出席してください。

なお、給付型奨学金の在学採用に申込みするためには、申込資格を満たしている必要がありますので、事前に日本学生支援機構のホームページにて、申込資格を満たしているか否かをご確認ください。

- ※多子世帯支援を希望する方は、所得要件から給付奨学生にならないことが明らかであっても、給付奨学生に申請しなければ、入学科・授業料減免を申請することはできません。
- 日本学生支援機構ホームページ <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/shikau/zaigaku.html>
 トップページ > 奨学金の申込資格や支給額、申込方法を知りたい > 申込資格や採用基準を満たしているか知りたい > 進学後に在学している大学等で申し込みたい方 > 給付型奨学金 > 申込資格

説明会の日程についてはP4の4「授業開始までの日程表」を参照してください。

なお、編入学後に給付型奨学金（多子世帯区分授業料等減免支援を含む）の在学採用への申請を希望する学生も説明会に必ず出席してください。

ただし、学士編入学の方は申請できません。

説明会には、下記の必要書類を持参の上必ず出席してください。

- 2026年度スカラネット下書き用紙※記入済みであること。
- 学修計画書※印刷し、左上ホチキス止め、記入済みであること。
- レターバックライト3通※必要事項記入済みであること。
- 学生本人名義の通帳※口座番号が分かればコピーや画像でも可。
- 出身高校の「調査書」（厳封/1通）
- 筆記用具※黒のボールペン必須

※①、②は入学手続き時に「経済支援のインターネット手続き」を行うことによって連絡したメールアドレス宛に必要なファイルを送信します。「経済支援のためのインターネット手続き」については、合格者への送付物「経済支援の手引き」をご確認ください。

※給付・貸与両方の手続をする方は、「給付」の説明会に参加してください。

説明会は4月9日に開催します。当日参加できない方は、4月10日に学生課7番窓口へ来ててください。

17 奨学金 日本学生支援機構（貸与型）

学業・人物ともに優秀であって、経済的理由により修学が困難と認められる学生に対し、本人の申請に基づき、選考の上、奨学金が貸与されます。

日本学生支援機構の貸与型奨学金

(1) 奨学金の種別等

種別	募集時期	手続時期	貸与始期 ^{*1}	貸与終期	貸与月額(円)
第一種奨学金 (無利息)	4月	4月	4月	修業年限の 範囲内	通学形態（自宅通学・自宅外通学）や日本学生支援機構給付奨学生に採用されている場合は支援区分によって、貸与月額は異なります。 詳細は、日本学生支援機構ホームページをご覧ください。 https://www.jasso.go.jp/
第二種奨学金 (利息付)			4月 以降の希望月		2～12万までの間で選択（1万刻み）
入学時特別増額貸与 奨学金（利息付） ^{*2}			4月	4月	10万、20万、30万、40万、50万から 選択

※1 「予約採用」で奨学生（貸与型）に採用された方の初回振込月は「5月」です。この時、4月分の奨学金も5月分の奨学金と一緒に入金されます。

「在学採用」で奨学生（貸与型）に採用された方の初回振込月は「6月」です。この時、貸与始期から5月分までの奨学金が6月分の奨学金と一緒に入金されます。

※2 入学時特別増額貸与奨学金は、第一種奨学金の貸与を受ける者、または第二種奨学金の貸与を4月から受ける者が希望する場合、初回振込時に貸与月額に増額して貸与されます。

(2) 説明会について

① 出身高校等を通じて貸与奨学金採用候補者となっている方

日本学生支援機構貸与奨学生採用候補者とされている学生を対象に、「貸与奨学金採用候補者」
手続説明会を行いますので必ず出席してください。

説明会の日程についてはP4の**4**「授業開始までの日程表」を参照してください。

説明会には、下記の必要書類を持参の上、必ず出席してください。

- ①. 2026年度入学者用進学届入力下書き用紙※印刷し、左上ホチキス止め、記入済みであること。
- ②. レターパック1通※必要事項記入済みであること。
- ③. 令和8年度大学等奨学生採用候補者決定通知(提出用)※提出用裏面記入済みであること。
- ④. 採用候補者名義の通帳※口座番号が分かればコピーや画像でも可。
- ⑤. 筆記用具※黒のボールペン必須。

※①は入学手続き時に「経済支援のためのインターネット手続き」を行うことによって連絡したメールアドレス宛に必要なファイルを送信します。「経済支援のためのインターネット手続き」については、合格者への送付物「経済支援の手引き」をご確認ください。

※給付・貸与両方の手続をする方は、「給付」の説明会に参加してください。

4月1日と4月2日の両日9:00～10:00に説明会を実施しますが、それぞれ説明会の対象となる学部が異なります。自分が入学する学部が対象となっている説明会に参加してください。また、4月8日から4月10日の9:00～17:00に個別の書類確認を行います。説明会にて配付する書類の案内に従ってお越しください。

※令和8年度大学等奨学生採用候補者決定通知の選考結果に下記のように「第一種・第二種いずれか一方の利用可」と記載のある方は、説明会までに必ずどちらを選択するか決めてきてください。

給付型奨学金区分Ⅰまたは区分Ⅱで採用されている方は、第一種奨学金を併用しても併給調整により、貸与額は0円となり、給付型奨学金区分Ⅲで採用されている方であっても、およそ1万円程度の貸与のみ可能となります。給付型奨学金の採用者であつて、より多くの貸与奨学金を希望する場合は第二種奨学金を選択することをお勧めします。

第一種奨学金 (無利子)	第二種奨学金 (有利子)
第一種・第二種いずれか一方の利用可	

② 入学後に貸与型奨学金を希望する方

本学入学後に新規に申請する方も、予約採用において貸与型奨学金が不採用となった方や、第二種から第一種への変更等を希望する方も在学採用へ申込みことができます。

募集説明会を行いますので必ず出席してください。

説明会の日程についてはP4の**4**「授業開始までの日程表」を参照してください。

なお、編入学後に在学採用への申請を希望する方も、必ず出席してください。

説明会には、下記の必要書類を持参の上、必ず出席してください。

- ①. 2026年度スカラネット下書き用紙※記入済みであること。
- ②. 学修計画書※記入済みであること。
- ③. レターパックライト1通
- ④. 学生本人の名義の通帳※口座番号が分かればコピーや画像でも可。
- ⑤. 出身高校の「調査書」(厳封/1通)
- ⑥. 筆記用具※黒のボールペン必須

※①, ②は入学手続き時に「経済支援のためのインターネット手続き」を行うことによって連絡したメールアドレス宛に必要なファイルを送信します。「経済支援のためのインターネット手続き」については、合格者への送付物「経済支援の手引き」をご確認ください。

※給付・貸与両方の手続をする方は、「給付」の説明会に参加してください。

説明会は4月9日に開催します。当日参加できない方は、4月10日に学生課7番窓口へ来てください。

(3) 在学猶予の提出について

入学前在学(高専・大学等)で日本学生支援機構奨学生であった入学者は、4月末日までにスカラネットパーソナルから在学猶予願を提出してください。手続方法や学校番号等については、学務部学生課経済支援担当窓口へ入学後に直接お越しください。

なお、在学猶予の手続きをしなかった場合は、在学中であっても貸与された奨学金を返還しなければなりませんのでご注意ください。

18 弘前大学独自の奨学金等

弘前大学生生活支援奨学金

本学独自の奨学金制度で、一時的に経済的理由により生活が困難な学生（非正規学生及び留学生を除く）に対し、奨学金（上限10万円）を貸与しています（無利子貸与，原則として1回）。

申請には連帯保証人等の同意が必要であり，貸与を受けた月の翌月から起算して6か月を経過した後返還を開始し，一括又は月賦（20回以内）により在学中に返還を終了する必要があります。

申請から貸与までの期間が概ね2週間以内と短いのが特長です。申請は随時受付けています。

岩谷元彰弘前大学育英基金（奨学金給付事業）

本学への寄附金を活用した給付型の奨学金制度で，返還義務はありません。

対象は学業成績優秀者でかつ，日本学生支援機構第一種奨学金基準（学部用）を満たす者となっています。

【奨学金】一人あたり20万円

【募集時期】10月～11月中（予定）

掲示・ホームページなどでお知らせします。

弘前大学基金 トヨペット未来の青森県応援事業

本事業は，青森トヨペット株式会社からの寄附を原資として，経済的支援により更なる飛躍が期待される学生に奨学金の給付を行うことで，優秀な人材を青森県内に輩出することを目的として，平成29年度に設立されました。

対象は，2年次以上の学部学生となっています。

【奨学金】一人あたり25万円

【募集時期】6月～8月頃（予定）

掲示・ホームページなどでお知らせします。

弘前大学基金 弘前大学生生活協同組合学生支援金給付事業

本事業は，弘前大学生生活協同組合からの寄附金を原資として，経済的理由により修学が困難な学生に対して修学支援金を給付することにより，学生の学修に係る経済的負担を軽減し，また学修環境を整えることを目的として設立されました。

【奨学金】一人あたり10万円

【募集時期】9月～10月頃（予定）

詳細は掲示・ホームページなどでお知らせします。

その他の奨学金

地方公共団体（都道府県・市町村等）や民間団体等が行う奨学金制度もあります。

申請方法は，大学推薦によるものと，本人申請によるものがあります。

本学が取り扱っている奨学団体は60団体以上あり，募集時期は，4月から5月に集中しています。

なお，大学へ募集通知が届くものは掲示でお知らせしています。

19 大学生活に必要な保険（学研災・共済）等への加入について

本学では、学生の正課による実習や大学の行事による災害補償のため、保障制度への加入を推奨しています。

大学生活では、本人のケガや病気の他、第三者から損害賠償を求められる場面も少なからず想定されます。皆さんの安全で充実した大学生活を守るためにも、以下の保険や共済のいずれか、または両方に加入をお願いします。

特に授業科目で実習・実験・学外研修等を履修する場合は、保険加入が義務付けられている場合がありますので、詳しくは所属学部の教務（学務）担当へ確認してください。

加入方法等、詳細は同封の保険（学研災・共済）等のパンフレットを参照してください。

1. 「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」「学研災付帯賠償責任保険（学研賠）」等

「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」、「学研災付帯賠償責任保険（学研賠）」は財団法人国際教育支援協会が契約者となっている団体保険で、全国規模の互助救済制度であるため非常に低い掛金で加入できます。

名称	保険内容等		該当学部等	保険期間等	保険料	加入手続き
学生教育研究 災害傷害保険 (略称「学研災」)	日本国内外における本学の教育研究活動中（正課中・学校行事中・大学が認めた課外活動中）及び通学中の不慮の災害事故に対しての補償制度です。		人文社会科学部 教育学部 理工学部 農学生命科学部	4年間	3,300円	
			医学部保健学科 医学部心理支援科学科	4年間	3,370円	
			医学部医学科	6年間	4,800円	
学研災付帯 賠償責任保険 (略称「学研賠」)	「学研災」に加入した学生のみ加入できます。国内外において学生が、正課・学校行事及びその往復で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したこと等により被る法律上の損害賠償の補償制度です。	Aコース 学生教育研究賠償責任保険(略称「学研賠」) 授業中・学校行事中及びその往復中(AコースはBコースの補償内容を含む)	人文社会科学部 教育学部 医学部医学科 医学部保健学科 医学部心理支援科学科 理工学部 農学生命科学部	4年間	1,360円	弘前大学 生活協同組合 電話： 0172-37-6480 (平日11:00～ 15:30)
		Bコース インターンシップ・教職資格活動等賠償責任保険(略称「インターン賠」) インターンシップ中、介護体験活動中、教育実習中など、特定の活動中及びその往復中		4年間	840円	
		Cコース 医学生教育研究賠償責任保険(略称「医学賠」) 医療関連学部学生のみ対象とする。医療関連学部の実習中・学校行事中・臨床実習中及びその往復中(CコースはAコース、Bコースの補償内容を含む)	医学部保健学科 医学部心理支援科学科	4年間	2,000円	
		医学部医学科	6年間	3,000円		
学研災付帯 学生生活総合保険 (略称「学研災付帯学総」)	「学研災付帯学総」は「学研災」加入者のみ加入できます。学生生活全般に補償範囲を広げた、「学研災」に上乗せできる保険です。学生自身の病気やケガ、インターンシップ中や自転車運転中の高額賠償事故などを、24時間、365日幅広く補償します。ケガや病気による通院は1日目から保険金の支払い対象になります。					学生生活総合 保険相談デスク フリーダイヤル 0120-811-806 (土日祝日をのぞく 9:30～17:00)

2. 弘前大学生協の取り扱う共済・保険

上記の他、弘前大学生協でも以下のような共済・保険の取扱があります。

名称	保険内容等	保障期間等	掛金・保険料	加入手続き
CO・OP 学生総合共済	学内外、国内外を問わず、24時間365日、時間や場所を問わず学生本人のケガと病気を保障します。授業中、実験・実習中、部活・サークル活動中、アルバイト中、インターンシップ中、日常生活での学生本人の病気（精神疾患含む）やケガを保障します。親扶養者の死亡についても保障があります。学内にある生協窓口で相談や給付申請の手続きができます。	1年間	14,400円	<p>新入生 サポートセンター 電話：0120-154-163</p> <p>本学内にある弘前大学生協同組合「新入生サポートセンター」で加入の手続きができます。</p> <p>また、同封の「加入手続きのご案内」をご覧ください。Web加入、もしくは、最寄りのゆうちょ銀行からの払い込みにて加入することもできます。</p>
学生賠償責任保険	学内外、国内外を問わず、正課の授業中や実験・実習中、部活・サークル活動中、アルバイトやインターンシップ中、日常生活で起きた賠償事故を保障します。また、国内の賠償事故には示談交渉サービスが付いています。	1年間	1,800円	
学生賠償責任保険 (一人暮らし特約あり*)	アパート、下宿、寮など一人暮らしの学生の「住まい」等を取り巻くリスクに備えるために、学生賠償責任保険に一人暮らし特約を付帯しています。借家人賠償責任保障、家財保障、盗難保障、父母駆けつけ費用保障等の保障があります。*自宅から通学する方は加入できません。	1年間	8,500円	
就学費用保障保険	扶養者が万が一病気やケガで死亡したり、ケガで重度の後遺障害を負って、学生本人が扶養者に扶養されなくなった場合の学資費用をサポートします。大学の授業料や教科書・教材のほか、通学定期代や賃借料も対象です。	4年制 1年目 1口 6年制 1年目 1口	2,610円 3,870円	

注1) 弘前大学生協の取り扱う共済・保険に加入する際は弘前大学生協への加入が必要です。

注2) 詳しい保障内容は、同封の「大学生協のCO・OP学生総合共済」パンフレットを参照してください。

注3) 「新入生サポートセンター」の営業期間は、同封の案内文書を参照してください。

20 附属図書館

利用について

本学には、文京地区に「附属図書館本館」、本町地区に「医学部分館」があります。

「学生証」の裏面が「図書館利用証」になっています。図書館利用証は本館・分館いずれでも共通して使用できます。

開館時間	授業期	本館	月～金	8：30～21：45	土・日	10：00～17：00
		分館		9：00～21：45		
	休業期	本館		9：00～17：00		休館
		分館				10：00～17：00

*詳細は附属図書館ホームページ等でご確認ください。

新入生対象の「図書館ガイダンス」について

基礎ゼミの授業の中で「図書館ガイダンス」を受講することがあります。クラス毎に日程が異なりますので、教員の指示により受講してください。もし授業で図書館ガイダンスを受講できなかった場合は、個人申し込みの「図書館ガイダンス」に参加してください。(内容は同じです。)個人申し込みの「図書館ガイダンス」開催日程は、掲示等でお知らせします。

アカデミック・コモンズについて

雑誌棟1階にあるアカデミック・コモンズは「知の交錯する場所」をコンセプトに、4つのエリアで構成されています。壁面をスクリーンとして使用できるプロジェクターを設置し、壁面書架には多読本が並んでいる「グローバル・スクエア」、撮影用の機材が充実している「プレゼンテーション・スタジオ」、ソファでゆっくりくつろぎながら読書をしたいという方にお勧めの「リーディング・ルーム」、そして館内で唯一飲食可能なエリアである「リフレッシュ・スペース」で構成されます。

アカデミック・コモンズは会話が可能な場所ですので、グループワーク等にもご利用ください。

○附属図書館ホームページ：<https://ul.hirosaki-u.ac.jp/>



附属図書館ホームページ

21 国際連携本部／サポートオフィス

本学には交流協定を結んでいる海外協定校が約60校あります。半年または1年間の長期留学（交換留学）や夏休み・春休みを利用した短期間の語学研修の他、トビタテ！留学JAPANでの留学など留学には色々なタイプがあり、サポートオフィスでは留学全般に関する相談・支援を行っていますので、お気軽にお越しください。留学に関する情報は掲示の他、CAMPUS SQUARE、国際連携本部のホームページやFacebook、X、Instagramでもお知らせしています。

留学に関して疑問・不安がある場合にはサポートオフィスのスタッフが相談に応じます。留学することが決定していない段階でも大丈夫ですので、まずはメールでお問い合わせください。

○E-mail：jm3114@hirosaki-u.ac.jp

○場所：総合教育棟2階（イングリッシュ・ラウンジ向かい）

○電話：0172-39-3114

○ホームページ：<https://www.kokusai.hirosaki-u.ac.jp/>



国際連携本部ホームページ

22 キャリアセンター

大学入学は、社会で生活するための一つの通過点です。勉学に努めながら進路を考えることは、大切なことといえます。進路を考える場合、進学や留学もありますが、例年、本学学生の約7割が、就職を選択しています。そうした皆さんを支援するために、キャリアセンターがあります。

キャリアセンターでは、キャリアアドバイザーによる個別就職相談や就職活動に役立つセミナー等を実施しています。本学ホームページ「キャリアセンター」に詳しく掲載していますので、アクセスしてみてください。

1年生だから早すぎるということはありません。ガイダンスやインターンシップ等、1～2年生のうちから参加し、将来に備えることは大切です。先輩達の就職活動の様子など、就職に関する情報を収集しておきましょう。キャリアセンターを大いに利用してください。

○場所：総合教育棟1階

○電話：0172-39-3129

○ホームページ：<https://career.hirosaki-u.ac.jp/>



キャリアセンターホームページ

28 保健管理センター

大学生活における心身両面のサポートを行っています。

健康についての管理・相談，健康診断，応急処置等を行っています。

また，いろいろな悩みなどについて，専門のカウンセラーがプライバシーに配慮して相談に応じ，適切な指導・助言を与えてくれます。大学の休業期間中も受け付けしますので，気軽に相談にきてください。

- 場所：裏表紙の「弘前大学構内略図」を参照
- 電話：0172-39-3128
- ホームページ：<https://hokekan.hirosaki-u.ac.jp/>



保健管理センターホームページ

定期健康診断

定期健康診断は，学校保健安全法及び本学の学生等健康診断規程等により行われるもので，学生は必ず受検しなければなりません。毎年4月～6月に行われ，学部（学科・課程）別の実施日を，ホームページ等により皆さんにお知らせします。

健康診断の結果は，CAMPUS SQUAREで各自確認してください。

（健康診断証明書は自動発行機で発行できますが，定期健康診断を受検しないと発行できません。）

心の悩みに関する相談

保健管理センターの専任カウンセラー及び非常勤カウンセラー（学外）が，修学・進路・対人関係・自分自身についての悩みなど，心身の不調に関わる様々な相談に応じています。相談をご希望の方は，下記の連絡先に電話またはメールで申し込んでください。

例えば・・・

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| ○心身の健康について | ○大学生活について | ○学業について |
| ○性格について | ○対人関係について | ○進路，将来のこと |

○専任カウンセラー受付の連絡先

保健管理センター（文京町地区）電 話：0172-39-3128

E-mail：hokekan2020@hirosaki-u.ac.jp

医学部学務担当（本町地区）

電 話：0172-39-5204（水曜午前実施）

E-mail：jm5204@hirosaki-u.ac.jp

○非常勤カウンセラー（学外）受付の連絡先

保健管理センター 電 話：0172-39-3118

E-mail：hokekansoudan@hirosaki-u.ac.jp

- ホームページ：<https://hokekan.hirosaki-u.ac.jp/mental-health/>



メンタルヘルスホームページ

入学前の予防接種について

麻疹をはじめとした感染症の流行を予防するために「麻疹・風疹・水痘・おたふくかぜ」の罹患歴及び予防接種歴を入学前に母子健康手帳等で確認してください。

もし，麻疹罹患歴または麻疹予防接種歴のいずれもない場合，あるいは，両者とも不明確な場合は，近くの医院等を受診の上，入学前に予防接種を受けることをおすすめします。

特に，教育実習及び病院実習を希望する学生は，抗体がないと実習できない場合があります。学部の指示に従ってください。

健康で安全な大学生活のために，病気予防や健康の増進に心がけましょう。

24 学生生活に関する相談

学生生活に関わりのある様々な相談に、保健管理センター以外にカウンセラー・コーディネーターが対応しています。相談内容によっては、より適切な職員や関係機関につないでいますので、気軽に利用してください。

◎学生生活全般に関する相談

学生課「なんでも相談」窓口は、学生生活に関わりのある全ての相談窓口です。どこに相談したらいいかわからないこと、こんなこと聞いていいかな？と思うことも相談してください。相談内容によっては、別の適任者や関係機関等を紹介します。困ったことがあれば、まずは「なんでも相談」窓口にご相談してみましよう。

◆学生課「なんでも相談」窓口の連絡先

場 所：総合教育棟1階 学生課7番窓口

電 話：0172-39-3112

E-mail：jm3112@hirosaki-u.ac.jp

◎修学上の悩みやコミュニケーションの困難さに関する相談

学生特別支援室では、障害等に伴う修学上の困難に関する相談に応じ、学内の関係者・関連部局と連携しながら、よりよい学生生活を送ることができるよう支援しています。弘前大学に在学する学生で、障害もしくは特性に伴う修学上の困難のある学生が対象です。学生本人からの相談だけでなく、保証人や関係者・教職員からの相談も受け付けています。コーディネーターが、困難の状態や特性等について、学生本人、保証人や関係者や教職員と話し合いながら、よりよい学生生活を送ることができるよう必要な配慮について検討していきます。

例えば・・・

- 階段や段差等により移動が困難
- 教員や発表者の声が聞こえにくい
- 板書やスクリーンの文字が見えにくい
- 授業を聞きながらノートが取れない
- 周囲の音が気になり授業に集中できない
- 課題が重なるとうまく処理できない
- 具体的な指示がないと課題が達成できない
- 急な予定の変更に対応できない
- 発表場面で極度に緊張したり、言いたいことを整理して伝えたりすることが難しい

◆学生特別支援室の連絡先

場 所：総合教育棟1階 学生課7番窓口

電 話：0172-39-3266

E-mail：g-shien@hirosaki-u.ac.jp

○ホームページ：<https://home.hirosaki-u.ac.jp/gakutokushien/>



学生特別支援室ホームページ

※相談日は予約できます。相談を希望される方は、電話やメールでご連絡ください。

※対面での相談のほか、電話やメール、オンラインによる相談も行っています。

25 English Loungeの利用

English Lounge(EL) (総合教育棟 2 階)は、留学や就職など、より実践的な英語コミュニケーション能力を身につけたいと思う全学生のために、ネイティブスピーカーの教員や日本人の英語教員、留学生サポーター等が常駐して、学生が主体的に学習するサポートをしています。

English Lounge では、教員や留学生との会話活動だけでなく、基礎英語、TOEIC/TOEFL、文化、心理学、時事問題など多彩なトピックを英語で学ぶセミナーを開講しています。英語を使用するゲームや季節のイベントなど、楽しみながら英語を自然と学べる企画もたくさんあります。また、英語の書籍、英語資格試験対策教材等による学習も自由にでき、個別に英語学習に関するアドバイスを受けることもできます。本施設は登録不要ですので、ぜひご利用ください。

○ホームページ：<https://home.hirosaki-u.ac.jp/salc/>



English Lounge ホームページ

26 学生による学修相談（ピアサポーター）

本学では、学習面で悩む学生を支援するため、先輩学生(ピアサポーター)による学修相談を行っています。

履修科目の選び方、レポートや試験の対策、文献検索の方法、自習のポイントなど、様々な内容に対して自身の経験などをもとに相談に応じます。

学修相談の日時・場所については、後日掲示板等でお知らせします。

事前の予約は必要ありませんので、お気軽にご相談ください。

27 課外活動

学生のみなさんは、学業に専念することはもちろんですが、それとともに社会の一員として必要な資質を身につけたり教養を高めたり、学生生活を楽しく過ごすため、学業以外のいろいろな活動に積極的に参加することは、非常に有意義なことと思います。

本学では、体育系、文化系合わせて140余りの課外活動団体が、学内外で活動しています。

全学的な行事

- (1) 新入生歓迎行事：毎年度始め、新入生が早く大学に慣れ、有意義な学生生活を送られるよう、新歓本部実行委員会などが中心となって、各種新入生歓迎行事を行っています。
- (2) 大学祭：大学のいろいろな学生活動が総合的に行われる機会として、毎年秋（10月下旬）に学祭本部実行委員会が中心となって行っており、学内の交流・親睦の実をあげるとともに、広く大学生活を地域社会に紹介して、大学と市民をつなぐ機会にもなっています。

体育会系の主な大会

毎年、東北地区大学体育大会が6月頃から行われています。この大会は、全国大会の予選を兼ねる種目もあり、東北地区の国公私立大学の明朗なスポーツ精神によって交歓を深めています。

28 大学会館

大学会館は、学生及び教職員の福利厚生を図るための中心的な総合施設です。

1階には、学生食堂、キャンパスコンビニ、書籍・文具店、就活用Webブース、2階には、小集会室、和室、レストラン、ボランティアセンター、3階には、大・中・小集会室などが配置されています。学生食堂、キャンパスコンビニ、書籍・文具店及びレストランの営業時間は、弘前大学生生活協同組合のホームページを確認してください。

その他の施設の利用方法等は、学生便覧に記載されている「2. 学生生活 8 課外活動について」(Ⅲ大学会館について)を確認してください。

29 学寮及びアパート・下宿の案内

学寮への入寮希望者へ

施設の概要(表紙裏「弘前市内略図」参照)

学寮名	対 象	施設内容	所 在 地
北溟寮	男 子 106室	鉄筋4階建 1人部屋	弘前市緑ヶ丘1丁目8-4
北鷹寮	男 子 100室	鉄筋5階建 1人部屋	弘前市学園町1-1
朋 寮	女 子 117室	鉄筋5階建 1人部屋	弘前市学園町1-1
国際交流会館	男子・女子 49室	鉄筋4階建 1人部屋・ルームシェア	弘前市桔梗野2丁目20-17

入寮時期は、原則として学年の初めですが、定員に欠員が生じた場合は補欠入寮を許可する場合があります。各寮の設備・料金・申込み方法については、本学ホームページの学寮案内ページをご覧ください。以下にお問い合わせください。

学寮関係の問い合わせ先

■北溟寮・北鷹寮・朋寮

学務部学生課課外教育担当

電話 0172-39-3107

E-mail: jm3107@hirosaki-u.ac.jp

■国際交流会館

国際連携本部

電話 0172-39-3875

アパート・下宿の案内

早めに先輩・知人・大学生協や不動産業者を通して探した上、直接出向いて間取・環境・大学までの通学時間などを確認してください。

標準的な料金は概ね次のとおりです。(光熱水料と暖房費は、アパート・下宿とも自己負担となります。)

区 分	部屋の広さ	料 金
ア パ ー ト	6畳	27,000円～35,000円
	8畳	33,000円～50,000円
下宿(2食付き) パ ン シ ョ ン	6畳	50,000円～69,000円

30 その他学生生活に関する事項

飲酒について

20歳未満の学生の飲酒は法令違反であり、懲戒対象行為になります。20歳以上の学生であっても、過度の飲酒は避けるとともに、20歳未満学生の飲酒を黙認・放置・助長することが絶対ないようにしてください。

新年度・学期始めは、さくら祭りやサークルの新入生歓迎会などでの飲酒機会が多くなりますので、アルハラなどを含め、特に注意してください。

また、構内は、原則飲酒禁止です。

薬物乱用防止について

昨今、合法ハーブ等と称して販売される薬物「危険ドラッグ」の乱用者が犯罪を犯したり、重大な交通死亡事故を引き起こしたりする事案が後を絶たず、深刻な社会問題になっています。「危険ドラッグ」は、「合法ドラッグ」「合法ハーブ」などと称して販売されているため、身体に影響がなく、さも安全であるかのように誤解されがちですが、麻薬に似た成分で、幻覚症状や興奮作用があり、大変危険です。

危険ドラッグのほか違法薬物は、「絶対買わない」「絶対使わない」「絶対関わらない」ようにしてください。

「不同意性交等罪」「不同意わいせつ罪」について

令和5年度の法改正により、例えば、「暴行」や「脅迫」のほか、「アルコール」、「薬物」、「障害」、「睡眠」、「フリーズ状態」、「虐待」、「立場による影響力」などが原因となって、「イヤ」ということ、「イヤ」と言うこと、又は「イヤ」を貫くことが難しい状況で、性的な行為がされた場合、「不同意わいせつ罪」や「不同意性交等罪」という犯罪行為となります。

また、男性も女性もこうした犯罪の被害者になる可能性があります。

そのほか、このような状況ではなくても、13歳未満の子どもに対して、性的な行為をした場合、あるいは13歳以上16歳未満の子どもに対して、その人より5歳以上の年上の人が性的な行為をした場合、その子どもがイヤと思っているかどうか（同意しているかどうか）にかかわらず、「不同意わいせつ罪」や「不同意性交等罪」が成立します。

もしも、被害に遭った、あるいは被害に遭ったかと思った場合は、以下の窓口に迷わず相談してください。

- 性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター【Tel：#8891】
- 性犯罪被害相談【Tel：#8103】
- 性暴力に関するSNS相談（チャット）「Cure time（キュアタイム）」

闇バイトについて

「闇バイト」は単なるアルバイトなどではなく犯罪であり、その実態は、指示役が青少年を使い捨ての実行役として利用するものです。

また、個人情報や渡すことにより「闇バイト」等の犯罪に巻き込まれる場合があります。安易に個人情報を教えるのは危険ですので、十分注意するようにしてください。

オンラインカジノについて

オンラインカジノによる賭博は犯罪です。オンラインカジノサイトの多くは海外で運営されているといわれています。その国では合法的に運営されているとしても、日本国内からこれらのサイトにアクセスしてオンラインカジノで賭博を行うことは、「賭博罪」などの犯罪となります。

海外渡航届の提出

夏休みなどを利用しての留学や観光等のために海外渡航の計画がある場合には、その旨をクラス担任に報告し、必ず海外渡航届を所属学部の教務・学務担当に提出してください。海外で事故等が発生した場合、海外渡航届により皆さんの渡航情報を確認して安否の確認を行います。「自分の身は自分で守る」という意識を持つことと渡航先や渡航期間等の情報を家族や大学に伝えておくことは非常に重要です。渡航目的に関わらず、海外に渡航する際は必ず提出してください。

その際、「在留届（3か月以上滞在の場合）」や「たびレジ」への登録も忘れないようにしてください。

SNS等の利用について

Facebook（フェイスブック）、X（エックス）、LINE（ライン）、Instagram（インスタグラム）などのいわゆるSNSは、身近なコミュニケーションツールとなっています。

SNSは、多くの人から情報が収集でき、同時に多くの人に素早く情報が発信できます。

しかしそれだけに、電子タトゥーとも呼ばれるように誤った情報や個人情報が一度発信されると、ほとんど消すことができない**怖い**ものとなることがあります。

SNS利用者は善人ばかりでなく正しい情報ばかりとは限りません。匿名性もいずれ破られます。本人は仲間内だけで、又は匿名で自分とはわからないだろうというつもりで、不用意な発言や過激な行動等を発信したりしていますが、実は簡単に個人を特定されています。

これらの行為は周囲を巻き込み多大な損害を与えることがあります。

自身のプライバシーを守り、相手のプライバシーを尊重して利用するようにしましょう。

国民年金保険料の納付について

日本国内に住む20歳以上のすべての人は、保険料の納付が義務づけられています。

ただし、所得が少なく保険料を納めることが困難な20歳以上の学生については、「学生納付特例制度」という本人の申請により保険料の納付が猶予される制度がありますので、自身の住民票のある市区町村役場の国民年金担当窓口で必ず手続きしてください。

落とし物・忘れ物について

構内での遺失物が非常に多く、持ち主不明となっています。所持品等には学籍番号・名前をつけることを心掛け、遺失物を拾得した場合は、速やかに学生課等へ届け出てください。また、紛失した場合も申し出てください。

なお、拾得物は次の場所で保管していますので、心当たりのある方は申し出てください。

- 文京町キャンパス → 各学部教務担当
学務部学生課 学生・企画担当（総合教育棟1階学生課5番窓口）
附属図書館本館
- 本町キャンパス → 医学研究科 学務担当
保健学研究科 学務担当

盗難防止について

大学構内及び学寮等で盗難にあった場合は、直ちに所属する各学部教務・学務担当または、学生課へ届け出てください。

また、現金等の貴重品及び自転車の盗難防止のために、次のことに留意してください。

○現金等の貴重品

多額の現金は持ち歩かない、また自分の身から離さないようにしてください。

キャッシュカード、携帯電話等を紛失した場合はすぐに使用停止手続きをしてください。

携帯電話の紛失は、他人の情報も漏れることがあります。

○自転車

本学では多い年で年間およそ30件の盗難被害が発生しています。その多くの原因は、鍵をかけていないことによるものです。短時間の駐輪であっても必ず鍵をかけ、できる限り二重ロックするようにして自己防衛に努めてください。また登録番号も自身で控えておくようにしてください。

構内禁煙

大学構内は全面禁煙です。

たばこの煙は、たばこを吸わない人にとっては自らの意志とは関係なく体内に吸収され、健康に悪影響を及ぼすことが指摘されています。

成長過程にある20歳未満の喫煙は、多大な悪影響があるため法律でも禁止されており、20歳以上であっても本人の健康のためにも、なるべく喫煙しないことが望ましいといえます。

学生のみなさんはなるべく喫煙する習慣を作らないように努力し、学外においても歩行喫煙をしないなど喫煙マナーを守り「受動喫煙」の防止にも努めてください。

教育研究環境の保持

構内における良好な教育研究環境を保つために、自動車やオートバイ等による騒音、校舎内外における大声、携帯電話の着信音等に十分注意してください。

空き瓶・空き缶・ペットボトル・紙屑等は所定のゴミ箱に捨て、講義室等の施設を気持ちよく利用できるよう、環境美化に努めてください。

その他の注意

○身に覚えのない料金請求

メールやハガキ等で、身に覚えのない料金請求がきたとの報告がかなりあります。これらについては、絶対に相手と連絡を取らないようにし、消費者センターや警察に内容を報告してください。

○実態の分からない団体等からの勧誘

新学期当初は、サークルなどの勧誘に紛れて、実態不明の団体やカルト集団、悪徳商法などの誘いも報告されています。場所を移動してさらに話をするような場合は、はっきりと断り、アパートなどではドアチェーンをかけておき、中に入れないようにしてください。

○成年年齢引き下げに伴う消費者被害の拡大防止

2022年4月1日から民法上の成年年齢が20歳から18歳に引き下げられました。成人になる（成年に達する）と、保護者の同意なしに契約などができるようになり、これまで未成年者取消権が認められていた18歳、19歳の方は、未成年者取消権が認められなくなります。「18歳から大人」として、契約や買い物は、しっかりと考え、慎重に行動するよう心がけてください。

自動車の使用制限について

本学は駐車場が狭いため、自動車での通学を制限しています。自動車は4年次学生が本学正門から4km以上離れた場所に家族と同居しているとともに、卒論・実験などでどうしても必要と認められた場合に限り許可されます。

したがって、新入生のみなさんは自動車による通学を希望しても、特別な事情がない限り許可されません。

ただし、身体に障害があったり、医師から自動車での通学を勧められている場合には、申し出ることができます。

なお、駐車許可申請の手続等は所属する学部の総務担当、本町キャンパスの学生は、各研究科の学務グループへ申し出てください。(駐車許可証の交付は有料です。)

事件・事故等への対応

盗難などの事件・交通事故に遭遇、又は起こした場合は、ケガ等の状況を自己判断せず、被害・加害の状況に関わらず、所属する学部の教務・学務担当(P34【問い合わせ先・電話番号】参照)へ一報をお願いします。

アルバイトについて

アルバイトの紹介を希望する場合は、弘前大学生協ホームページ「アルバイト紹介」にアクセスし、求人内容を確認した上で、直接アルバイト先に申し込んでください。

— 心 構 え —

アルバイト先では、皆さんを弘前大学生として見えています。このことを忘れずにマナーを守り、勉学に支障のない範囲で行うなど、自覚をもって臨んでください。

31 弘前大学における学生等に係る個人情報の取扱いについて

弘前大学（以下「本学」という。）では、個人情報の重要性を深く認識し、個人情報の不正利用や漏えいを防ぐため、個人情報の適正かつ厳重な管理に努めています。

本学が保有する受験生、在學生、卒業生・修了生、保証人等に係る個人情報は関係法令等に基づき、「国立大学法人弘前大学個人情報管理規程」を定め、これに則り、以下のとおり取り扱います。

第1 本学は、次に掲げる個人情報を取得し、保有します。

(1) 入学者選抜試験情報

受験生の氏名、住所、電話番号、性別、生年月日、出身学校等の志願票記載事項、受験番号、入試成績、高等学校調査書情報 等

(2) 学籍原簿記載情報

学生の氏名、住所、電話番号、性別、生年月日、学籍番号、所属学部・学科等及び学籍異動履歴等並びに保証人等の氏名、住所、電話番号及び学生との続柄 等

(3) 修学管理・指導情報

履修・成績、進級・卒業判定 等

(4) 授業料等納付情報

口座振替情報、授業料債権情報 等

(5) 授業料等減免情報

家族氏名及び勤務先等、家計評価額、家計支持者の所得金額、入学料及び授業料減免額、特別控除額 等

(6) 奨学金関連情報

希望種別、希望月額、希望保証制度、振込口座等の奨学金申請情報、奨学生番号、支援区分、貸与月額、学修状況等の奨学金継続申請情報 等

(7) 学生健康管理情報

身長、体重、尿検査、視力、心電図、X線検査結果、健康診断結果 等

(8) 進路関連情報

進路希望及び就職活動、就職内定先、卒業後進路 等

(9) その他の情報

寄宿舎入寮者情報、学内施設・設備利用手続き等に関する情報、課外活動に関する情報、合理的配慮に関する情報、メールアドレス・パスワード等学内認証記号、会員ID等の校愛会会員情報、写真、映像、保護者等のメールアドレス 等

※各々の情報で、明らかに重複する項目、例えば「学生の氏名」などは一度の表記としています。

第2 第1に掲げる個人情報の利用目的は次のとおりです。

(1) 入学者選抜業務

入学者選抜、合否判定、入学手続き、入学者選抜方法改善の業務 等

(2) 教務関係業務

本人確認、本人への通知・連絡、掲示、家庭又は保証人等への連絡、各種証明書の発行、履修登録、授業・試験の実施、成績処理、進級・卒業等手続き、学位記の発行 等

(3) 学生支援業務

授業料減免関係業務、各種奨学金受給等関係業務、課外活動支援業務、寄宿料徴収関係業務、障害学生支援に関する業務 等

- (4) キャリア支援業務
求職登録, 進路(就職)支援業務, 進路(就職)関係業務 等
- (5) 健康管理業務
健康診断の実施, 健康診断証明書の発行, 健康安全管理関係業務 等
- (6) 学内施設等利用管理業務
寄宿舎入退寮管理業務, 図書館利用管理・図書貸出業務, 学内情報ネットワーク業務, 学内福利厚生施設等利用手続き, 入退出管理業務, 課外活動関係業務 等
- (7) その他
授業料等徴収関係業務, 統計調査及び分析, 教育改善のための調査研究, 本学が発行等を
する各種刊行物等への掲載及び送付, 災害時等における安否確認, 本学との雇用締結業務, 弘
前大学校愛会事業関係業務 等

第3 第2に掲げる利用目的に係る個人情報の取扱い業務の全部又は一部を外部に委託する場合があります。この場合, 契約書に秘密保持等の義務等の事項を明記するとともに, 必要に応じ, 委託先における責任者等の管理体制, 個人情報の管理の状況について確認します。

第4 弘前大学基金(弘前大学基金事務局), 本学の後援会又は同窓会, 弘前大学生協同組合から要請があった場合には, 安全確保の措置を講じた上で, 当該組織の事業に必要な範囲内において, 個人情報を当該組織に提供することがあります。

第5 教育実習校, 社会福祉施設, 特別支援学校等の実習先施設から要請があった場合には, 実習を円滑に実施するため, 個人情報を当該実習先施設に提供することがあります。

第6 第3から第5に掲げる場合の他, 次に掲げる場合を除き, 個人情報の利用又は第三者に個人情報を提供することはありません。(事前に本人の同意を得た場合を除く。)

- (1) 法令に基づく場合
- (2) 人の生命, 身体又は財産の保護のために必要がある場合であって, 本人の同意を得ることが困難であるとき
- (3) 公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって, 本人の同意を得ることが困難であるとき
- (4) 国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって, 本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき
- (5) 学術研究の成果の公表又は教授のためやむを得ないとき(個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合を除く。)
- (6) 学術研究目的で提供する必要があるとき(当該個人情報を提供する目的の一部が学術研究目的である場合を含み, 個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合を除く。)
- (7) 当該第三者が学術研究機関等である場合であって, 当該第三者が当該個人情報を学術研究目的で取り扱う必要があるとき(当該個人情報を取り扱う目的の一部が学術研究目的である場合を含み, 個人の権利利益を不当に侵害するおそれがある場合を除く。)

第7 第1に掲げるもの以外の個人情報を保有する場合又は利用目的に変更が生じた場合には, 文書, メール等による通知又は本学ホームページ上への掲載等による公表を行います。

第8 個人情報の管理等, 制度に関する問い合わせ及び当該制度に基づく保有個人情報の開示, 訂正又は利用停止の請求については, 総務部総務企画課及び学務部教務課が対応します。

※令和8年度から改正を予定しています。下記URLを参照してください。

<https://www.hirosaki-u.ac.jp/privacypolicy/>

【問い合わせ先・電話番号】[受付：月～金(土日祝日除く)]
(市外局番 0172)

- 入学時提出書類・日程など
各学部教務・学務担当
 - 人文社会科学部 …………… 39-3940
 - 教育学部 …………… 39-3939
 - 医学部医学科 …………… 39-5204
 - 医学部保健学科 …………… 39-5911
 - 医学部心理支援科学科 …………… 39-5911
 - 理工学部 …………… 39-3930
 - 農学生命科学部 …………… 39-3752

- 授業料の口座振替など
財務部財務管理課収入担当 …………… 39-3885

- パソコンの準備など
学務部教務課教務企画担当 …………… 39-3108

- 授業料減免・学生教育研究災害傷害保険
学務部学生課経済支援担当 …………… 39-3117

- 奨学金
学務部学生課経済支援担当 …………… 39-3135

- 学寮
学務部学生課課外教育担当 …………… 39-3107
国際連携本部…………… 39-3875

- 学生相談(通称：なんでも相談)
学務部学生課学生相談担当 …………… 39-3112

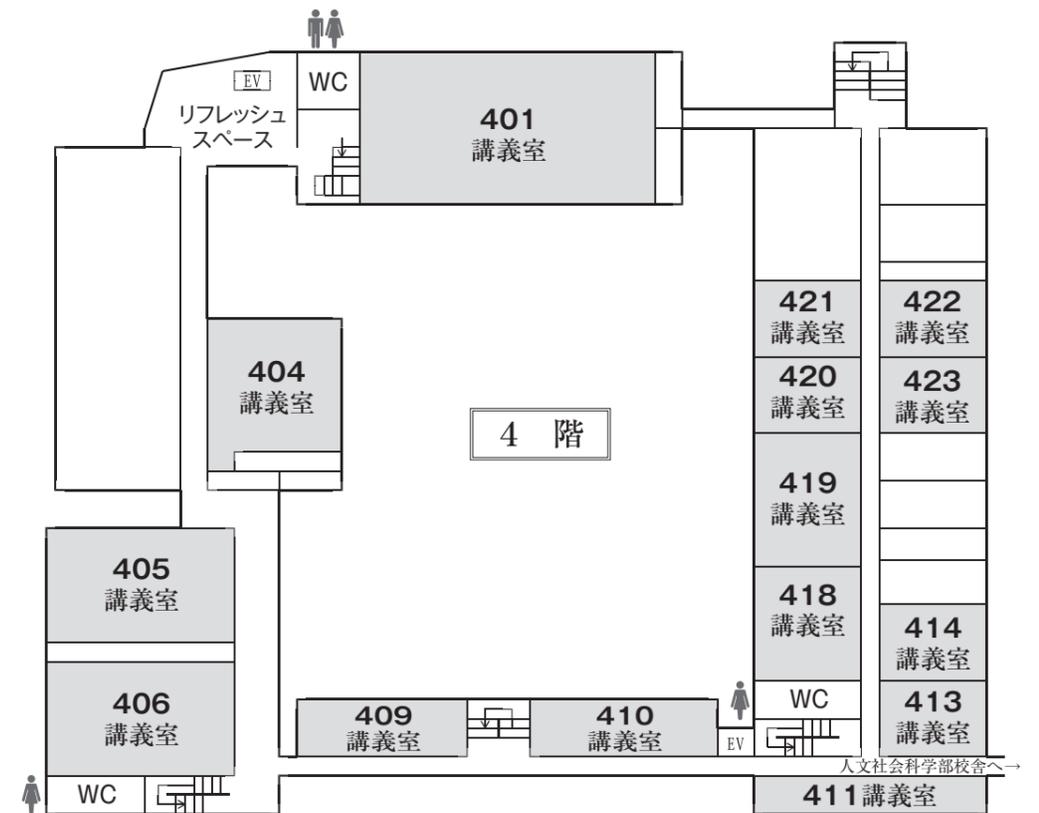
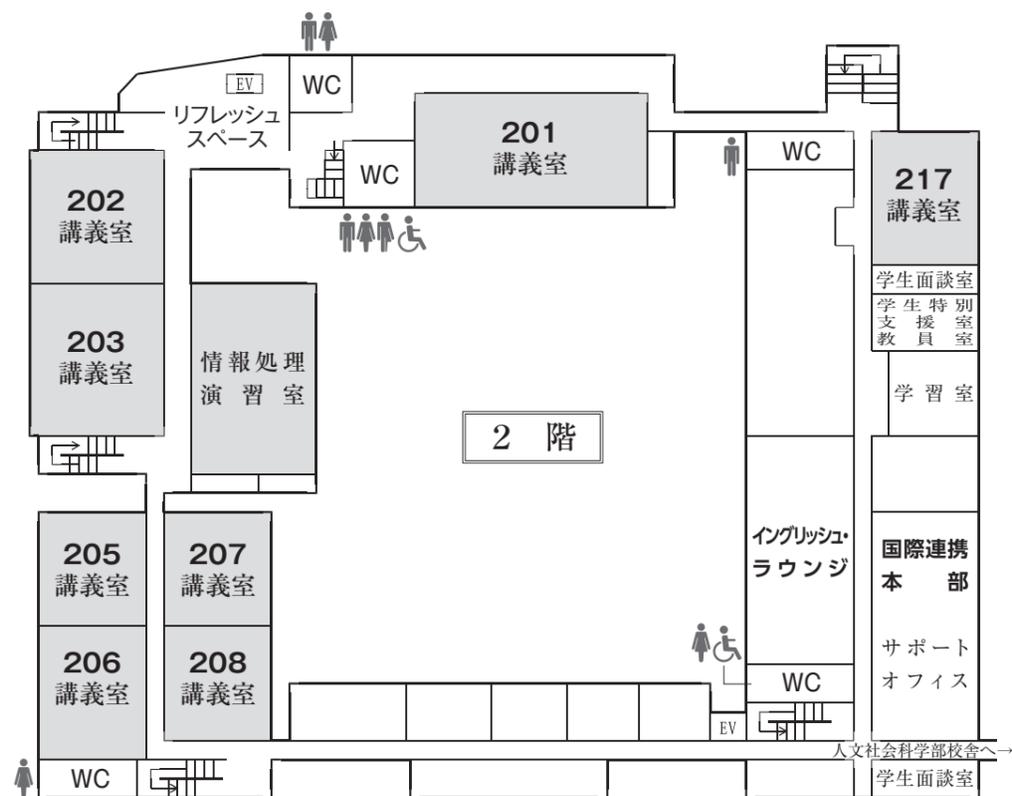
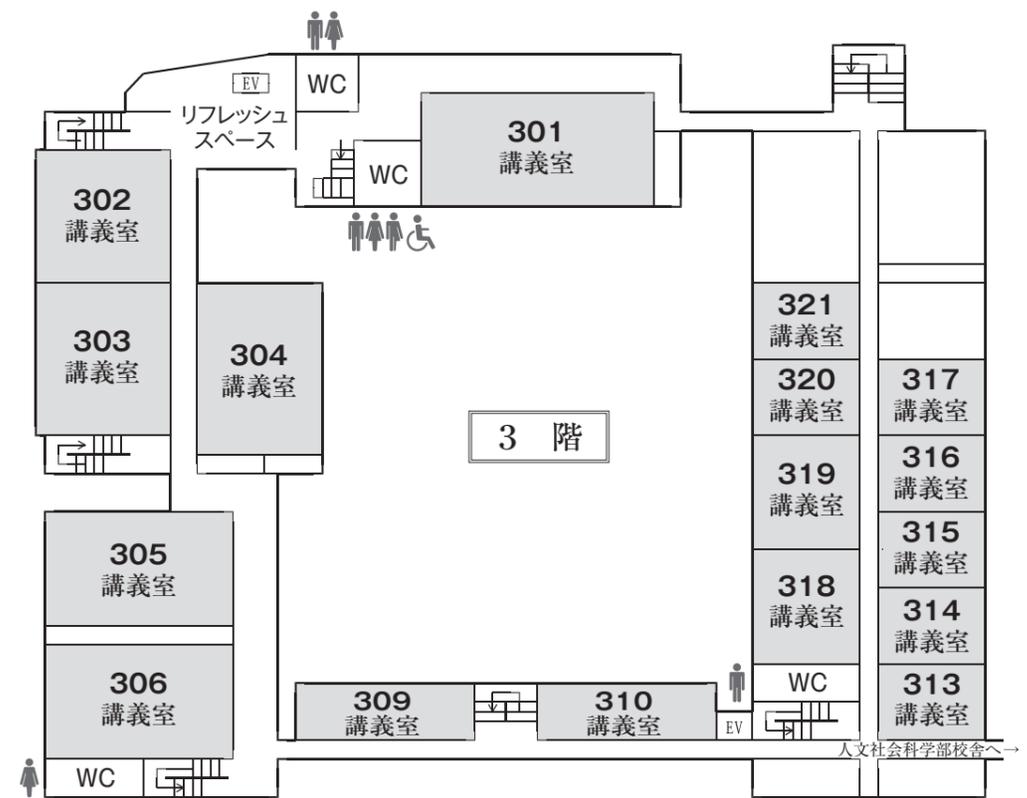
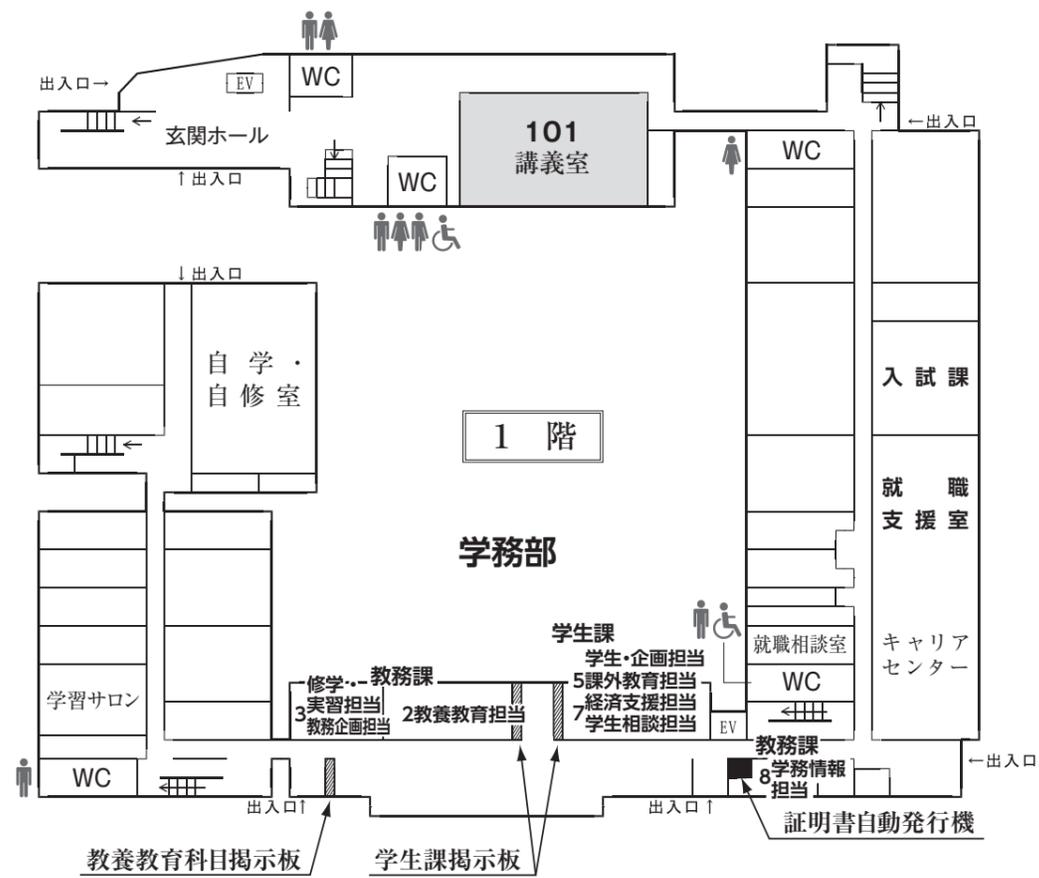
- 学生特別支援室 …………… 39-3266

- 保健管理センター …………… 39-3128

- 情報基盤センター …………… 39-3721
39-3726

※問い合わせ先の場所については「 総合教育棟の講義室等配置図」並びに巻末の
弘前大学構内略図を参照してください。

32 総合教育棟の講義室等配置図 (令和8年4月)



弘前大学構内略図

